

金曜コラム - 性暴力事件に対する素顔**キム・ヒジン（人権侵害の予防活動研究所代表/体育市民連帯会員）**

機関の代表と管理者を対象とした性暴力予防教育の時にいつも言う言葉があります。

「事件は発生する可能性があります。事件が発生したとき、透明な被害者の立場から被害者の保護をし、規定に基づいて処理手順を進めて懲戒すれば良いです。何の措置なしに黙認して傍観しているうちに、外部を通じてマスコミの報道がされる状況は被害者にさらに苦痛を与えるものであり、もしかしたら共犯者だと思います。」

マスコミに報道されると被害者は別の 2 次被害への露出がされて二重三重の被害を経験します。これまで経験したほとんどの報道事件がそうでした。

性暴力事件を担当する人の安逸な態度、性暴力事件の被害者に対する視線、マスコミの報道がされてから足に火がついたかのように大騒ぎする手順を進める事件があります。

先日、審議委員として機関の性暴力事件の調査に参加したことがあります。被害者は自分が隠し抑えていた過去の出来事について常に苦痛だったそうです。そしてミートゥー運動の拡散がきっかけとなって、数年前に自分自身に発生した事件について機関がどのような措置をしたのかについて問題提起をすることになったそうです。機関の代表は真相調査委員会を組織して、完全に被害者を保護し、過去の事件について調査を開始しました。

当時、機関の代表者と管理者は知っていたが「被害者が拡散されることを望まない」という意思表示を直接的な経路ではなく、第三者の意思伝達をきっかけに何の措置もしなかったといえます。被害者は拡散がされることを望んでいませんでしたが、「機関の管理者が知っていながら何の措置もしない」という考えはなかったと言います。機関では事件を認知したときの措置をとれる内部規定があり、その規定に基づいて進行すべきです。時間は過ぎましたが機関できちんと規定に基づいて事件を調査して進行することになったのは本当に幸いでした。

被害者の多くは事件が拡散されることを望んでいません。拡散を希望しないことが事件について何の措置なしに仕事が発生しなかったかのように事件前の状態で過ごすことができるという意味ではないでしょう。

2013 年親告罪（訳注：被害者など告訴権者の告訴がなければ公訴提起ができない犯罪）が廃止されました。親告罪廃止で第三者の告発でも処罰が可能で、被害者の処罰意思がなくても、告訴取り下げをしても加害者は処罰されることがあります。

しかし、まだ日常では他の現象を見せています。

ある機関では規定に基づいて事件処理をする場合において、被害者が進行したくない場合、何の措置も取らないと言います。警察でも同様に、事件について被害者の告訴取り下げがあっても事件の進行をしなければならないが、そうでない場合があるそうです。

このような現象は事件を調査する人々の意識レベルと関連があると思います。制度はあるが、その制度に基づいて行われない現象が意味することは何でしょうか？隠蔽して黙認する、あるいは被害者の立場より組織の立場を、事件を調べる調査業務の煩わしさを第一に考えたのではないのでしょうか？

ミートゥー運動の拡散によってフェミニズムを言いながらも、言う人の話の中に本来いるべき人がいません。男性と女性の対決構図を作って歪曲しようとする意図で、社会の大きな隙間の下にミートゥーを押しやってしまうかのようです。

性暴力被害者は人間の尊厳を毀損されたものであり、完全に守られ、その人権を保障する必要があります。

「被害者の保護」という見かけの良い文句を掲げて何もせずに傍観するなら、私たち自身も一緒に人権侵害をしているのだと思います。

01 ノーカットニュース 2018.10.15

【 チャン・ハギョンが遮った牙山ムグンファの生存努力 】

存廃の危機に陥った牙山ムグンファサッカーチームをさらに困難にしたのは、最終的にサッカー関係でした。

韓国プロサッカー連盟は14日、国家代表出身の元プロサッカー選手チャン・ハギョンが後輩Kリーガーに八百長を提案した事実を公開しました。

問題の事件は先月21日、釜山のホテルで発生しました。当時、釜山遠征を離れていた牙山ムグンファ所属イ・ハンセムは大先輩の提案を拒絶して、球団に勝負操作の提案を受けた事実を知らせました。牙山ムグンファは警察とKリーグクリーンセンターに報告しました。

プロサッカー連盟は「チャン・ハギョンが警察に緊急逮捕されたことを確認して非公開捜査に協力しました。チャン・ハギョンは現在、検察に拘束された状態だと伝えられました。

Kリーグは2011年に八百長事件で多くのサッカー関係者を失いました。元選手が自ら命を絶ち、監督もこの世を去りました。前途有望な多くの選手は勝負操作に加担した容疑で、子供時代を捧げたグラウンドから不名誉にも追い出されました。

しかし、チャン・ハギョンはこのような辛い歴史にもかかわらず再び勝負操作をしようとしてきました。自分の仲間が、また先輩・後輩が八百長に加担してどんな結末を迎えたかを知っていながらも、同じ過ちを繰り返しました。過ちを繰り返してはなりません。チャン・ハギョンは過ちではなく間違ったことをしました。

さらに大きな問題は時期です。最近、韓国サッカーは2018ロシアワールドカップ組別予選最後の試合、ドイツ戦勝利を皮切りに「春の日」に向かっています。ジャカルタ・パレンバンアジア大会ではソン・フンミン（トッテナム）など韓国サッカーの現在であり未来となる選手が金メダルを首にかけて、韓国サッカーの復活を知らせました。

おかげでパウロ・ベント監督が新たに赴任したサッカー代表チームの人气が日増しに高まっています。去る12日、ソウルワールドカップ競技場で開かれたウルグアイとの評価戦に6万4170人の満員の観客が集まりました。これらのサッカー代表チームへの熱い愛がKリーグにつながることを願う気持ちを込めた大型カードセクションも発表されました。

このような状況でチャン・ハギョンの八百長の事件が起きました。最悪のタイミングです。

実際Kリーグはサッカー代表チームに向けた熱い愛とは温度差を感じる状況です。球団は毎年の投資を削減し、Kリーグの試合会場に集まるサッカーファンも減っています。このためサッカー代表チームへの熱い愛がKリーグまでつながることを望むこれらの風が過去のウルグアイ戦のカードセクションに広がりました。

このような努力が、事によると花を咲かせる前に間違った選択をしたサッカー人によって無駄になる危機です。さらにチャン・ハギョンが勝負操作を提案したチームが存続の危機にある、事実上のオールシーズンを最後に消える可能性が大きい牙山ムグンファという点でさらに手痛いです。

2011年Kリーグの八百長当時も軍警チーム（訳注：牙山ムグンファは韓国警察庁傘下のサッカーチーム）は勝負操作の中心にありました。牙山ムグンファはKリーグに参加する前でしたが、当時、サンム（訳注：国軍体育部隊が運営する体育団の名前）所属の多くの選手が八百長に加担していた事実が明らかになり衝撃を与えました。彼らが多くの金を受け取っていたプロチームを離れて兵役を解決する状況で、「黒い金の誘惑」を拒絶できなかつたという理由をつけました。

牙山ムグンファは今季途中、警察の突然の人員選抜中断に存続の危機に陥りました。牙山サポーターと多くのサッカー関係者が牙山ムグンファを守るために力を集めていますが、最終的に八百長という巨大な壁に当たってしまいました。

種目は異なりますが、プロバレーボールVリーグは2011年～2012年シーズン途中で八百長スキャンダルが爆発し、この中心にアマチュア招請チームのサンムがいたことが確認されると、サンムがシーズン途中で残り試合を放棄しました。

当時、サンムは勝負操作事態に道義的責任を感じているとし、軍士気に与える影響などを考慮したと、リーグ不参加の理由を説明しました。2011年～2012年シーズン途中で発生した八百長事件後、リーグ不参加を宣言したサンムは、最終的に2012年～2013年シーズンからVリーグに参加していません。

先輩バレーボール人の過ちで後輩バレーボール人が大きな被害に遭っているわけです。今回の事態も同じような状況です。牙山の廃止を防ごうという多くの人々の情熱が集まる中、チャン・ハギョンの八百長操作は彼らの努力を半減させる状況になりました。

<http://www.nocutnews.co.kr/news/5044751>

02 スポーツソウル 2018.10.15

【 ソン・ヘウォン議員の「大学スポーツの弊害」から見てみましょう 】

「韓国野球委員会（KBO）から給与を受けるためにアマチュア選手を一人も選ばなかったのではないですか？」（訳注：宣監督がKBOから年俸を受け取っている事が代表選手選抜に影響したのか？との質問）

去る10日、国会文化体育観光委員会国政監査（国政監査）の場で与党幹事の共に民主党ソン・ヘウォン（63・ソウル麻浦区）議員が韓国野球代表チーム宣銅烈（ソン・ドンヨル）監督を怒鳴りつけた内容です。KBOから給与を受けるとプロ野球10球団の顔色を見るしかなくなるのでは、という常識外の質問に野球人だけでなく、ファンも驚愕を禁じえませんでした。プロ選手が出場する国際大会の選手選抜権をなぜKBOが移譲を受けたのか前後の事情を把握していないということ自認したわけです。

ソン議員はこの日、国政監査後も自分の社会関係網サービス（SNS）を含めて、複数の経路を介して「野球界の積弊を根絶する」と公言しています。兵役恩恵論議で浮上した国政監査を野球積弊清算の場にするという決然たる意志を表わしたものです。問題がある場合、根を抜くのが正しいです。誤った慣行があれば原因を問いただし、直さなければなりません。ただし、そのプロセスは注意が必要です。ソン議員が宣監督を根拠なく「積弊と一味徒党」だというふうに追い込んだことに対し、逆風を浴びた理由です。国民が委任した厳密な権力の行使者は徹底した検証を介して力を使わなければなりません。勉強をしなければならぬとい

う意味です。

宣監督は「プロとアマチュアの技量は天と地の差」と明らかにしました。最高の成績を得るには残念ながら、アマチュア選手にチャンスを与えることができません。実業野球がない韓国の特性を考慮すると、ソン議員が強調した「アマチュア」の選手は大学の選手たちです。しっかりとした監査をするには一時プロの舞台でも、即時戦力として通じていた大学の選手たちが大人の代表チームに選ばれないほど技量が落ちている理由をまず見るべきです。李明博政権時代の 2010 年当時、文化体育観光部（文体部）ユ・インチョン長官と高麗大、延世大、韓国体育大総長らが主導的に設立した韓国大学スポーツ協議会（KUSF）の運営実態について文化観光委でも関心を持つ必要があります。

KUSF は体育部を保有している大学の総長が理事に布陣されています。文体部を通じたトト基金である主催団体支援金で運営します。昨年は 134 億ウォン余りを執行しました。ソン議員の「積弊」という視点から見ると、KUSF はパク・クネ前大統領の西江大電子工学科同門であり、チェ・スンシルが聴講した檀国大総長であるジャン・ホソン総長が 2012 年 2 月から 2017 年 1 月までの 5 年間の長期執権し、大学のスポーツ全体を統括する恐竜に成長しました。一方的な積弊清算の視点で見れば、KUSF の成長こそ疑いが持たれる組織です。主催団体の支援金の執行権限を誰からどのような理由で受けたのか、当時の議事録が存在するかどうかなどを問わなければなりません。

03 連合ニュース 2018. 10. 18

【 単一チーム導いたマリー監督、選手たちの集団反発に再契約不発 】

韓国女子アイスホッケーチームを導いたサラ・マリー（30・カナダ）監督が選手たちの集団反発のせいで再契約が不発に終わったと明らかになりました。

2018 平昌冬季オリンピックで北朝鮮の選手たちと歴史的な単一チームを組んで、全世界に感動を抱かせた韓国代表チームが、実際には内部的に腐りきっていたのです。

大韓アイスホッケー協会は 16 日、報道資料を出して「サラ・マリー監督の契約満了後、空席だった女性アイスホッケー代表チームの監督に金サンジュン監督選任を確定した」と発表しました。

2014 年 9 月に韓国女子アイスホッケー代表チームの監督に就任したマリー監督の契約期間は今年 4 月、世界選手権まででした。

契約期間が満了したのは確かですが、協会側まず単一チームを成功に導いたことを含めて在任期間目覚ましい成果を出したマリー監督再契約に積極的でした。

マリー監督も 2022 年の北京オリンピックまで韓国代表監督に就任し、指揮をすることを望んでいましたが、再契約は行われませんでした。

代表チームの選手たちがマリー監督を交代するよう集団反発したからです。

去る 4 月、イタリアのアジアゴで開かれた 2018 国際アイスホッケー連盟（IIHF）女子世界選手権ディビジョン 1 グループ B（3 部リーグ）戦を控え、選手たちはトレーニングを拒否しました。

選手たちは協会に書簡を送り、マリー監督との再契約を見直さない場合、世界選手権大会をボイコットするという意思を伝えました。

平昌五輪に出場した選手 23 人のうち、なんと 21 人がマリー監督の再契約反対書簡にサインしました。

韓国女子アイスホッケーチームは 2014 年 9 月のマリー監督の就任と協会の全面的な支援が重なり、注目す

べき変化を成し遂げました。

1999年以來、四回参加した冬季アジア大会で15戦全敗に4ゴールを入れて242ゴールを奪われた代表チームは、昨年2月に札幌冬季アジア大会で史上初勝利を収めただけでなく、3勝をあげて歴代最高の成績をおさめました。

昨年4月に江陵で開催されたIIHF世界選手権ディビジョン2グループA(4部リーグ)で5戦全勝優勝を飾る快挙を上げました。

今年2月に行われた2018平昌五輪では、5戦全敗で最下位に終わったとはいえ、南北の姉妹が一つになって闘魂をくり広げた姿は世界中に深い感動をプレゼントしました。

単一チームが一つになれたのはマリー監督が政治的な負担に揺れずに中心をよく握ってくれたおかげだという評価が出ました。

マリー監督に賛辞があふれましたが選手たちの考えは違いました。選手たちはマリー監督の指導力と選手起用方法に長い不満を抱いてきました。

マリー監督が崇められるほど、逆に選手たちの不満はさらに高まったし、平昌オリンピックが終わった後、世界選手権大会を控えて爆発しました。

マリー監督はベク・ジソン(51・英語名ジムパック)プログラムディレクター兼男子代表監督の推薦で2014年9月に韓国女子アイスホッケー代表チームの監督になりました。

マリー監督は当時26歳で破格の選任でした。監督経験も全くありませんでした。

それでもベク監督が彼を推薦した背景には、元カナダ男子アイスホッケーチームの監督であり、北米アイスホッケーリーグ(NH)監督だったサラの父アンディ・マリーがいました。サラ・マリー監督は父とほぼ毎日国際電話をしてアドバイスを聞きました。それなりに最善を尽くしましたが、不足した面がありました。通常アイスホッケーでは一度ライン(訳注:フォワード3人の組み合わせのこと)を構成したら、負傷が発生しない限り簡単にラインを変えないのに、マリー監督は試合中でもラインを頻繁に交代しました。

技術訓練も初歩的なレベルの訓練だけの繰り返しになると選手たちは「マリー監督のせいで自分たちの技量が高まらない」と不満を持ちました。

マリー監督の指導スタイルや方式などは、お互いに十分に対話して接点を見つけることができる問題だったが、選手たちは極端な方法を選択しました。

協会は紆余曲折の末、世界選手権大会に出場して3勝1延長勝1敗で準優勝しました。

マリー監督も同行しましたがベンチに座っていません。金トユンコーチが代わりベンチに座って選手を指揮しました。

協会は事態解決のために努力しましたが選手たちの度重なる反対でマリー監督は再契約を放棄し、米国に戻って現在ミネソタ州にある高校でアイスホッケーチームの監督を引き受けました。

協会は集団で抗命(訳注:上に逆らうこと)事態を起こした選手たちに、6ヶ月代表資格停止という重い懲戒を下しました。

前協会の関係者は、「マリー監督が指導者としての経験が不足していることは事実であったが監督としての成果が優れていました。単一チームが突然実現されたとき、選手たちの側で選手を守ろうとしていたのがマリー監督だった」とし「それでも選手たちが団体に監督を交代するように出たのは、今考えても納得ができない。あまりにもせっかちで、極端な選択をしたようだ」と言いました。

<https://sports.v.daum.net/v/20181018093446596?d=y>

◆10月26日（金）午後6時 体育市民連帯 CNet フォーラム

主催：韓国障害者スポーツの問題点と改善の方向

問題提起：オ・グァンジン教授（韓国福祉大学教授）

討論：ミン・ソリ教授（ナザレ大学外来教授、リハビリテーション学）

場所：体育市民連帯事務室

瑞草区ヒョリョン路 230 スンジョンビル 407 号

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfgep@jarl.com